

H26年度 成人OT新人教育プログラム

OT見学について

- 1 4月1～2週目までは、プリセプティは各プリセプターの担当の方の見学を行う。
- 2 4月3週目からは、プリセプティの所属するチーム内のメンバー（チーム編成表の上段から）の見学から開始して、チーム内の見学が終了した後は、他のチームの見学を行う。
 - ・プリセプター以外のOTRの見学は、一日ずつ交代で行う。
 - ・OT見学時、先輩OTRは積極的にプリセプティにROM練習や検査実施などをしてもらって下さい。
- 3 成人OTRの見学が終了した後は、基本自由見学となります。プリセプターと相談しながら、①プリセプターの見学（継続して経過をみていきたい方など）、②成人OTRの担当する方で継続して見学したい方などを考慮しながら、一日のスケジュールを立てて行動する。
- 4 プリセプターは、自分の担当患者のカンファレンスにプリセプティを共に出席させる。
 - ・2回目以降のカンファレンス出席するかどうかは相談の上決める。

プリセプティの担当患者の指導について

- 1 プリセプティは、担当する患者2症例について、初期評価を行い、一週間以内に所定の書式にまとめて、各プリセプターに提出し、報告する。プリセプターは報告を受けて適宜フィードバックを行う。プリセプターは、教育担当責任者にフィードバック内容を報告する。教育担当責任者は、随時リーダーミーティングでプリセプティの様子を報告する。
- 2 担当後2～3週間後に治療の経過を確認するために、全プリセプター・プリセプティ、教育担当責任者が集まってミニ症例報告会を行う。
 - ・ミニ症例報告会は、プリセプティが疑問に思うことを気軽に相談することや、他のプリセプティのことを知る機会を目的とした簡単な報告会とする。
- 3 入院カンファレンスでは、最低1症例目はプリセプター（出席が困難な場合は教育担当責任者）も共に出席する。そして適宜フィードバックを行う。
 - ・カンファレンス前に、プリセプターはプリセプティから報告内容を確認する。
 - ・2症例目以降は、プリセプターがカンファレンスに出席するかどうかは、プリセプティと相談の上決める。
- 4 プリセプターは、最低2症例の訓練場面に共に介入して、技術面や接遇などに対してフィードバックを行う。
- 5 プリセプティは、プリセプターに何について指導をして欲しいかを事前に考えておくことで、より効率的な指導を受けることが出来るようにする。
- 6 プリセプティが、担当患者を持ち始めて、チーム内のメンバーのフォローを行うようになる時期からは、プリセプターは、継続してプリセプティの相談役を行う。そして、チーム内のメンバーも積極的にプリセプティの担当患者の治療・訓練についてのフィードバックや、実際のフォローに入ることで技術面や接遇などの指導を行う。